

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	2	25%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	4	50%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	0	0%
D	大学院修了という学歴がほしかいから。	1	13%
E	将来に不安を感じたから。	0	0%
F	時間に余裕が出来たから。	0	0%
G	その他	1	13%

G:理由

地産M1	教授に勧められたから
------	------------

3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	3	25%
B	先輩	0	0%
C	学内での説明会	2	17%
D	オープンキャンパス	0	0%
E	大学院パンフレット	4	33%
F	本学ホームページ	3	25%
G	その他	0	0%

4. あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	3	30%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	1	10%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	0	0%
D	課題の発見に関する研究	0	0%
E	課題の解決を目指す研究	3	30%
F	実践的応用に関する研究	2	20%
G	その他	1	10%

G:具体的内容

地産M1	地域経済の発展の研究
------	------------

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)
研究を行うときには、自分自身の判断によつてすすめている	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	2 (50%)	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

5.今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	0	0%
1～2科目	2	50%
3～5科目	0	0%
6～10科目	1	25%
11科目以上	1	25%

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	3	75%
B	ない	0	0%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	1	25%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
地産M1	商学持論	マーケティングの視点や捉え方と豊富な情報提供。 修士論文の書き方や注意点、他の大学での論文作成の視点。 修士論文のテーマや選択の方法、理論構築の手法や手引き。 今後博士課程進学に関する方法とアドバイス、博士論文と修士論文の連動したテーマ作成のアドバイスと方法論等
地産M1	マーケティング・マネジメント特論 沖縄経済特殊研究 I	自身が研究対象としている分野と重なり、知識の習得および研究展開の方向性について学ぶことができた。
地産M2	社会調査系	インタビューや統計と利用する際に必要な知識を得ることができた。

③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	0	0%
B	ない	3	75%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	1	25%

③(2)その科目名は何ですか。 該当なし

(3)どのような点の改善した方が良いと思ったのですか。 該当なし

6. あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	2	50%
B	満足していない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	2	50%

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ) 該当なし

③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	1	25%
B	なくてもよい	0	0%
C	どちらでもよい	1	25%
	無回答	2	50%

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地産M1	M2の修士論文中間発表の際、なぜM1の院生がその発表の準備をしないといけないのか・・・大変疑問と不愉快になりました。特に社会人枠から来ている院生からすると院生や学生は大学にとって、「お客様」だと思います。本来なら、発表する人の準備(司会、タイマー、資料配布等)は、「事務局」が行うのが当たり前ではないでしょうか?M1の院生は、M2の先輩の発表を聞きいろいろと参考にする「場」であり、貴重な「情報収集」の時間かと思われます。他の大学でそのような状況があることを聞いたことがありません。入学者が少ない研究科は、準備に終われ、その大切な「情報」が聞けないと思われます。是非、後輩のためにも「改善」をして欲しいと思います。
------	---

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	1	25%
B	満足していない	1	25%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	2	50%

②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地産M1	1.パソコン室の不足 2.学習室の不足 大学院専用の施設を使用する場合に、パソコン室や学習室が空いている席がなかったりすることがあり満足に利用できていません。希望としては図書館にある個室型の研究室を大学院専用の施設に採用してほしい。13号館6階の教室部分を個室研究室に変えても良いのではと思います。大学院は主に夜間の授業であり、学部の授業と重ならないので13号館3,4,5階の教室を利用すれば十分だと思います。
------	---

③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	1	25%
B	たまに利用している	1	25%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	2	50%

④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地産M1	研究室の個室を求めます。現状は、たこ部屋状態です。このような環境では研究の「質」が低下すると思われるます。東京の大学院では1人の個室が当たり前かと思われます。沖縄県立芸大の大学院ではパーティションで個室状況の環境を提供しています。せめてパーティション位のデスクでありたいものです。沖縄県の企業環境でも大分環境はよくなり、知性の仕事場ではパーティションは常識です。考える・創造する環境には、1人で思索する環境は必要不可欠です。それは、あくまでも沖国大の図書館にある個室ではなく、常設の個室が求められるかと思われます。
地産M1	大学院専用の施設で席が空いていない場合に、図書館の個室型研究室をよく利用しています。

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	1	25%
B	行っていません	0	0%
C	過去に経験があります	1	25%
	無回答	2	50%

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	続けたい	1	100%
B	続けたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地産M1	教育支援者としての姿勢を実践で学ぶことができる。
------	--------------------------

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域産業研究科)

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	1	100%
B	してみたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地産M1	沖国大の教育者及び非常勤講師を目指しているのです。
------	---------------------------

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	2	50%
B	知らない	0	0%
C	興味がない	0	0%
	無回答	2	50%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	0	0%
B	たまに利用している	1	25%
C	全く利用していない	1	25%
	無回答	2	50%

③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	0	0%
B	たまに参加している	2	50%
C	全く参加していない	0	0%
	無回答	2	50%

10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

地産M1	<p>選択履修科目を増やして欲しいです。私の専門は、マーケティング関係ですが、本大学院には専門分野の深堀りや知識の幅を広げるための科目があまりにも少ないと思われます。特に、社会人枠の人からするとあまりにも物足りないかと思われます。また、今日の沖縄企業の状況から経営に関する科目も少なすぎます!!この様な状況の科目では、企業からの入学推進は厳しいかと思われます。</p> <p>マーケティング分野では、最新のマーケティング戦略として感性マーケティング論、ブランド・マーケティング論、情報デザイン論、広告戦略論、広告クリエイティブ論、デザインマーケティング論、サービスマーケティング論、イノベーションマーケティング論等。経営分野は、サービス経営戦略論、国際経営戦略論、イノベーション経営論、技術経営戦略論、感性工学論、経営組織論等。は最低必要な科目かと思われます。東京の私立大学の商学修士課程・経営学修士過程の大学院選択必修科目の中にこのような科目はほとんどあります。時代に則した科目内容の充実を求めたいです。</p>
地産M1	<p>1.開講科目数が少ない(特にマイクロ分野の科目を増やしてほしい)</p> <p>2.通年科目が多いため、受講しづらい。セメスター制度を謳っているが実際には通年科目が過半数を占めているので、復学や休学、卒業計画が容易にできない。2学期制の授業構築をしっかりと取り組んでほしい。</p> <p>3.他大学への単位互換制度の利用が安易でないため、学外の研究者との交流が活発にできません。アクセスしやすい環境を整えてほしい。</p>